

いや～悪かった！

足尾 松木川 無名沢

飯田

【日時】 2013年6月16日(日)

【メンバー】 L飯田、煤孫、棚橋

アイスクライミングでは有名な松木川だが、あまり沢としての遡行記録はない。昨年行った丹平治沢が良かったので、第二弾として今回は右岸の無名沢を選んでみた。メンバーは煤孫さんと棚橋さん。湘南新宿ラインで古河駅まで来てもらい間藤駅へ。翌朝、銅親水公園に車をデポし林道を歩く。下降路として計画していた「ジャンダルム 右ルンゼはどこだ」と単眼鏡で探したりして、1時間半ほどで無名沢出合へ。前夜は結構な雨だったので、松木川の渡渉が核心か？と思っていたが、まったく問題がなかった。

無名沢はいきなり15mの滝で出合う。ちょっと難しそうなので右岸から高巻く。

次の滝も難しそうなので左岸から高巻き。あれっ、このまま難しい滝ばかり続くの？と心配になってきたが次の滝からはほとんど登れるようになってきた。



大系には「4m以上の滝が25個以上も数えられ…」と書いてあったが、大系の中には、跨げるくらいの物も「滝」と書いてある場合があるので、話半分と思っていたが、まさしく滝が連続する沢だった。

また、松木川の右岸側はジャンダルム見てもわかるように、岩の墓場的なイメージが有ったが意外と緑が多くて驚いた。

「この滝の上段部が第一の核心」

左岸側をトラバース気味に登るが、ボルトとハーケンの残置があり助かった。滝上でトライカムを3個かませでビレイ



その後も、川原が無いくらい滝が連続し、そのほとんどが直登できる。

(滝の一つ一つが、ちょっとずつ難しいところがまたニクイ)

三人で、「これは当たり沢ですね～」と喜んでいた。



大系では上部で左俣に入るとなっているが、良くわからないので真っ直ぐ進んだのだが、ここからが大変だった。

※右の写真が、「恐怖のガレ場」の入口「砂走り」ならぬ「石走り」が延々と続く。足を置いたら崩れていく。人間大の

岩が簡単に転がってくる。ホント悪かった。とにかく信頼出来るホールド、スタンスが無い。なんとか左岸側に逃げて(ここも悪い)石塔尾根に出ることができた。いや～悪かった。悪いのはそんなに嫌いではないが、それにしても悪かった。

石塔尾根からは中倉山経由でジャンダルム右ルンゼを降りる予定だったが、赤テープも続いているし、もし無くなっても藪も薄そうなので仁田元川方面に向かう尾根を降りることにする。結局、赤テープも道も仁田元川の林道まで続いており、中倉山から45分で林道に降りることができた。

石塔尾根から見た限りでは、左俣に入ったとしてもかなりのガレに見えました。

上部のガレさえなければ、オススメ度 ☆x5の沢なんですけどね～。残念。

煤孫さん、棚橋さん、今度は快適な沢に行きましょうね。

【グレード】3級? (ガレを回避できれば2級上?) ガレ5級

【行程】6/15 銅親水公園(07:10)～無名沢出合(08:35)～稜線(13:20)～中倉山(14:00)



～仁田元沢林道(14:45)～親水公園(15:30)

【地図】中禪寺湖

